

NEWS RELEASE



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局
大阪運輸支局

令和8年2月12日

問い合わせ先
(所属・担当) 大阪運輸支局 検査・整備・保安部門
西野・磯野
(電話) 072-822-4374 「2」をブッシュ

タイヤ交換後にホイール・ナットの増し締めの徹底を！ ～大阪トラックステーションで点検を実施～

大阪運輸支局は、大阪府トラック協会および大阪府自動車整備振興会と連携し、2月5日に大阪トラックステーションにおいて「大型トラックのホイール・ナットの増し締め点検」を実施しました。

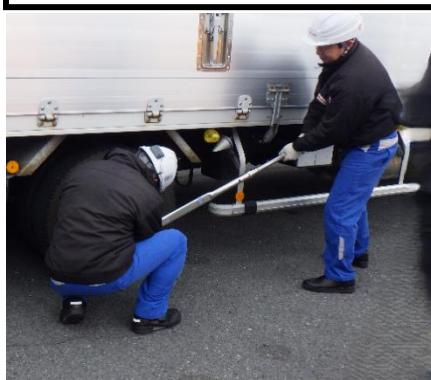
大型トラックおよび中型トラック合わせて21台の点検を実施した結果、6台にホイール・ナットの緩みが確認されたため、トルクレンチを用いて規定トルクでの増し締めを行いました。また2台に錆汁の跡が確認され、さらに1台についてはアルミホイールとスチール用ホイール・ボルトとの組み合わせが適正でない車両が確認されたため、いずれも注意喚起を実施しております。

ホイール・ナットの緩み点検が容易にできるよう「インジケーター」を配布して活用を呼びかけました。

また、増し締め点検とあわせて、トラック・物流Gメンによりトラック運転者への聞き取り調査や周知・啓発活動を実施しました。

～点検結果詳細～

- 点検台数21台中、6台でホイール・ナットの緩みが確認された。
- ホイール・ナットの緩みは左側車輪に多く見受けられた。（左側13本、右側9本）
- ホイール・ナットの緩みはありませんでしたが、2台にホイールに錆汁の跡が確認された。
- ホイール・ナットの緩みはありませんでしたが、1台にホイールとホイール・ボルトとの組み合わせが適正でない使用が確認された。



インジケーター装着例

タイヤ交換直後は要注意！

タイヤを適切に交換しても、走行すると必ず緩み（初期なじみ）が発生します。

タイヤ交換後50km～100km

走行後は規定トルクで増し締めをお願いします。

(参考)

冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！→



トラック・物流Gメンのとりくみについては
こちら！ →→→



配布先
青灯クラブ
陸運記者会（トラック部会）

防ごう 大型車の車輪脱落事故

ダメだよ

メンテしなくても
大丈夫です!!
がんばります!!



お

事前の正しい点検が大きな
事故を未然に防ぐ唯一かつ
最善の手段です。

おとさぬ
ための
点検整備

と



トルクレンチで
適正締付

適正なトルクレンチによる
規定トルクの締め付け、
タイヤ交換後の増し締めの実施。



よ

さびたナットは
清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、
ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加
塗装などを取り除きます。



よ

いちにち一度は
ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い
左後輪を中心とし、ボルト、ナットを
目で見て手で触るなどして点検します。

よ



ナット・ワッシャー
隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、
ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイル
など指定の潤滑油を薄く塗布し、
回転させて油をなじませてください。



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備基準協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に関する調査・分析検討会 日本自動車工業会 (いすゞ自動車、日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス)
全国トラック協会 日本バス協会 全国商用自動車協会 日本自動車整備技術者協会会員会 日本自動車修理販賣業者協会会員会 全国タイヤ商工店連絡協会会員会 日本自動車タイヤ協会
全国石油商業組合連合会 日本自動車車両作工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具業会 日本自動車後援器具工業会 自動車用品小売業者協会 日本自動車車両整備協同組合連合会



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ5つのポイント」】、
【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参考の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締付けトルク」で行ってください。

※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。



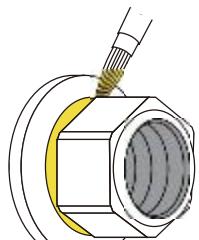
ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの潤滑について

ISO方式

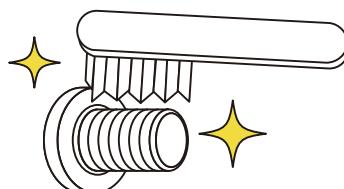
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れない!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、
ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の注意点だよ!



ホイール締付け方式

ホイールの締付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。
また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪:右ねじ(新・ISO方式) 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの 履き替え	ボルト交換
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの 締付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください。

http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

